



魔法で女化？
そんなこと
しなくたって
あたしは乙女よ！

- Happiness!
瀬良瀬 準 Fan book

発端は↓の1P漫画でした
 勢いで描いて勢いでWebで公開したら思いのほか好評で
 「こんな感じで夏に本出せたらいいよねー」
 みたいなこと言ったら
 だんだん後に引けない状況に追い込まれ
 気が付いたらシャーペン走らせていた次第です

全然関係ありませんが
 はびりら発売に備え7月に入ってからずっと募集してたのですが
 発売一週間前（これを書いてる二日前）に
 自然解放いたしまして
 21日間の苦勞が文字通り水泡に帰した事に
 今はただ嘆き、悔やむばかりです

そんなわけで春姫×準さん本です
 テーマはかつこよく言う「真実と虚構」です
 わかりやすく言う「春姫エロすぎ準さん可愛すぎ」です
 早い話が「準さん射精祭り」です
 いや、別にそこまで祭ってはいないですけど

それではどうか最後までお付き合いくださいませ



井ノがき

こんな事になるなら

「知る」んじゃなかったと

私は、後悔した

一週間前

ゆーまーっ

やっぱりもう
帰っちゃったかあ

女ができたと思
ったらすぐ
これなんだから

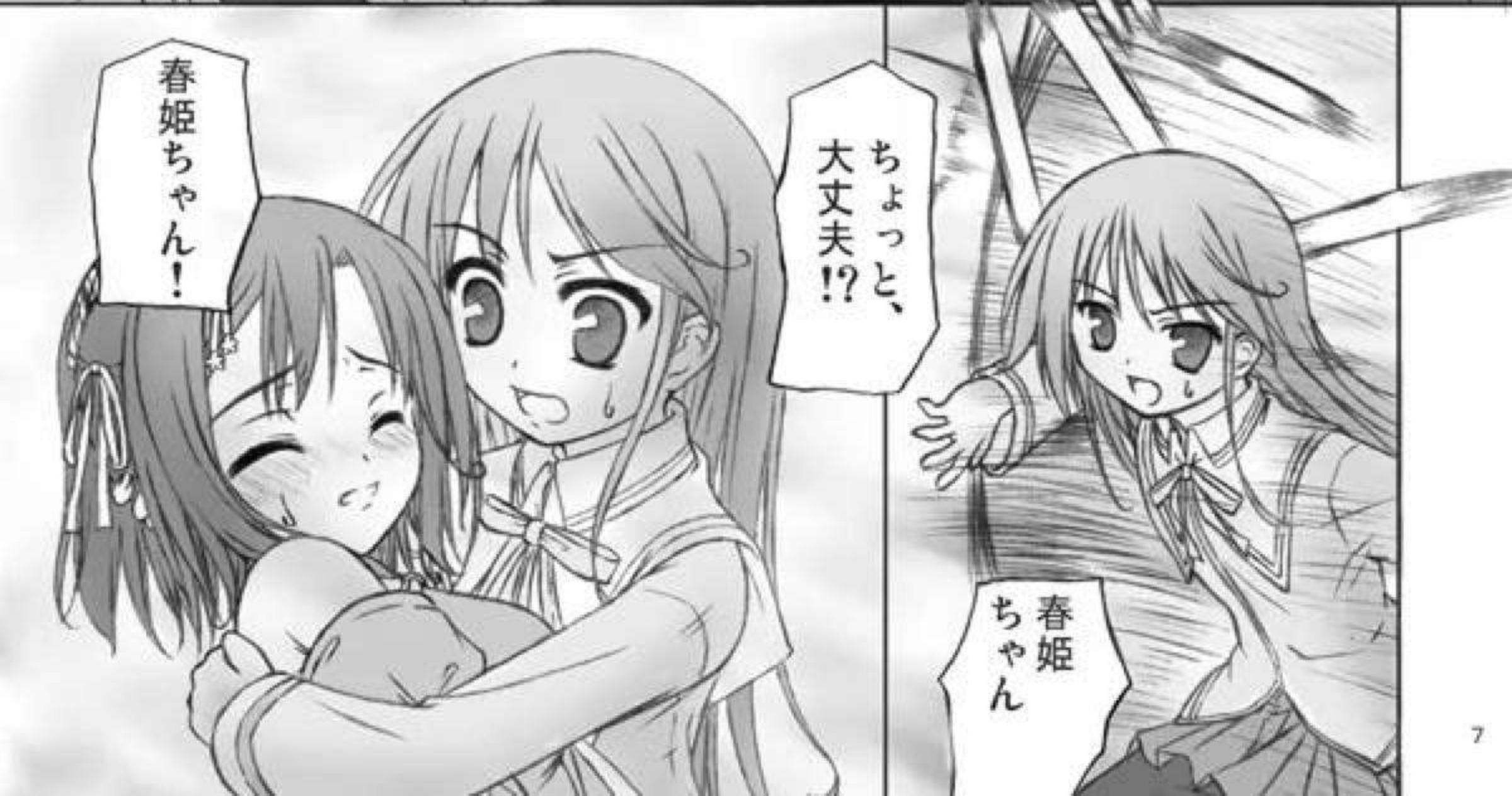
まったくもー

友情なんて
所詮
二の次に――

もおおお…
実習室

って

☆





今にして思えば

春姫ちゃん！

ねえ

ねえってば

春姫ちゃん

あのととき、
彼女が見せた眼こそ

やんってば



春っ——！？

最後の警告だったのだ——



はっ

とがが

そう——
部屋に入った瞬間に
気づくべきだったのだ

準さん

はっ

はっ

はっ

ごめんね

熱くて……
苦しくて

おかしく
なりそう……

朦朧とする思考
火照る身体
痺れる両手足

この煙が
彼女とあたしを
こんなふう
にしているのだと

今だけで
いいから

彼女を女に

プポ……

あたしを男に
するための

私たち——
男と女になりましょう

——これは、
そんな魔法だ





んあつ……
やああつ！

自分のは自分で
始末しなきゃ

飛び散って
周りが汚れちゃう
でしょう？



あはっ♪

思った通り
準さんいっぱい
出したねえ

普段からあまり
してないん
でしょ？

はっ

はっ



だから
今日はね

私が全部
搾り出してあげる

彼女の一挙一動は
何もかもが
手慣れている――

ぎゅっ



すごいね
こうしてると私が
準さんを犯してる
みたいだね？



んあっ

ふあうっ



……準さんって
すごく敏感
なのね



まだ…出っ…

やだっ…



心が女の子だから
普通の男の子より
感じ過ぎちゃう
のかな？



あ…んッ

出るっ…
出ちゃうっ…

する

だったら
思い知らせて
あげる

さあ…好きな
ようにして
いいんだよう？

本物の女の子が
あたしの顔を
跨いでる……

本物の女の子の
身体で準さんに

どれだけ可愛くても
自分は所詮、男の子
なんだってことを

形も匂いも
男の子とは全然
違くて……

見てるだけで
クラクラして……

春姫ちゃん
の――



あはっ…

準さんのまた
おっきくなって
ビクビクしてる

女の子の味に
興奮してるん
だね



春姫ちゃ—
だめっ、
それえっ！

あっ！

んあああっ！



でもソコだけが
女の子の全て
じゃないのよ

例えばココ
とか…ね？



んあっ！？



入る……

ズ
ウ
ウ

入っちゃう
よお……!

春姫ちゃん
っ……

入っちゃった……
春姫ちゃんの中に
入っちゃったよお……

チキッ
フ

あああ……

あたし……
あたしっ……

「ちゅ
ん」

グ
ン

ふああんっ!





……あー

耳い

魔法って怖いなー
と改めて実感
してる訳ですが…

ほんとに飲み薬に
なるはずだったのに
失敗して気化
しちゃって……

はー

えっと、ほらっ
雄真くん今、魔法の
勉強してて忙しくて

最近、私
構ってもらえなかった
からつい勢いというか
若気の至りというか…

私の
……

はー

こんなの雄真くん
に飲ませても

勉強の邪魔にしか
ならないって
分かってるのにね…

春姫ちゃん

えり？



春姫ちゃんのこと

うん。

もじもじ

お姉様って
呼びたい

ダメ?

は



掘…っ!?

ん



あたしは
雄真を掘るわ!

うっしー



今度は雄真も連れて
三人でしましょ?
雄真が春姫ちゃんに、



そんなふうに
戯けていないと、
男としてのあたしに
心を支配されそうで
怖かった

ああ、神様—
あたしはこれからも
乙女でいられますか…?

圧倒的な後悔と罪悪感が
あたしを責め苛む—
彼女が打ち付けた楔は
徐々に、しかし確実に
あたしを壊していくのだ

to be continued…?

異性を抱くという行為は
自身の性を強く意識する瞬間でもあります

本物の女の子よりも
ピュアで愛らしく、時に小悪魔的な乙女心を有する準さんは
肉体と肉体の繋がりによって
あっさりと何らかの変調を来し兼ねないほど
危うい一面を持っていると思うのです

真実は、彼にとっての「毒」に他なりません

生命の箱庭へと通じる薄桃色の髪
母性溢れる柔らかな乳房
男と赤ん坊を愛で、慰しむ事に特化した女性の身体との接触は
残酷なまでに自身の身体との違いを準さんに思い知らせる事でしょう

そうして、乙女心は自壊していきます

男はこう囁きます
「もっと彼女を抱きたい！」

女はこう囁きます
「私もあんな身体が欲しい！」

分解と再構築を繰り返す乙女心が行き着く先に
果たして準さんの望む理想の「乙女」は在るのでしょうか

そんなわけで、テーマは「真実と虚構」です
俺の中の準さんは、いざ雄真に迫られたとしたら
案外あたふたして戸惑うんじゃないかと思うのです

では女の子とするような状況になった場合
準さんはどんな反応を見せてくれるのでしょうか

これは俺のそんな疑問についての本です
このまま男として目覚めてしまうのか
それとも、これまで以上に確固とした乙女心を取り戻すのか

このゲームの世界には魔法なんていう便利なものがありますが
だからこそ準さんにはそんな安易な手段で答えを
手に入れて欲しくないのです
人間なので、様々な葛藤の末に
自己というものは掘み取らなければ意味がありません

「魔法で女化？ そんなことしなくたってあたしは乙女よ！」

万能たる魔法に打ち勝てるだけの強さがあるならば
性別の概念を超越するなど些事に過ぎまい

そしてそのまま天使になっちゃえばいいと思う
わあい

RYO